

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲

2021
9 月
No.88



兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



〔診療科紹介〕

精神科

〔部門紹介〕

医療安全部



●〔AGMCニュース〕

新しいドクターカーが導入されました！

- ぶらり〜っと病院探訪
- ご寄附のお願い
- マスク着用のご協力をお願いします
- 面会禁止のお願い
- 病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

精神科

患者さんが 安心して治療を受けられるように、 心理的・精神的なサポートをします

精神科は、主に入院患者さんの身体疾患や環境変化などによる不眠、抑うつ、せん妄といった精神症状に対して治療を行っています。精神科身体合併症病棟を運営し、一般病棟での対応の難しい精神科的疾患や認知症を認める患者さんの身体疾患の治療をサポートしています。

構成メンバー

科長・部長 渡邊 敦司
部長 柴田 真理子
石橋 直木・塚本 亮・飯塚 理
大山 朗宏（非常勤）・藤原 広臨（非常勤）
若菅 彩（心理判定員）



[後列・左から] 西出（精神保健福祉士）／若菅（心理判定員）／川島（精神保健福祉士）／
吉田（精神看護専門看護師）

[前列・左から] 飯塚（医師）／柴田（医師）／渡邊（医師）／石橋（医師）／塚本（医師）

提供する活動内容（診療、取り組み、実績など）

① コンサルテーション・リエゾンチーム

身体疾患に伴う心理的・精神的な疾患をチームで治療しています。身体疾患などによるせん妄などに対して、リエゾンチームの実践。認知症疾患を持つ患者さんへの認知症ケアチームに、神経内科とともに実践。緩和ケアチームでは、心理的・精神的な問題のサポートをしています。

② 精神科身体合併症病棟

身体疾患の治療に際して出現する、精神症状を認める患者さんや精神疾患を持つ患者さんに対して、精神科身体合併症病棟での治療を行っています。

③ 認知症疾患医療センター

神経内科とともに運営にあたっています。もの忘れ外来では、認知症の鑑別診断を行っています。



精神科科長
精神科部長（精神医療担当）

渡邊 敦司

- 精神保健指定医
- 精神科専門医・指導医
- 日本児童青年精神医学会認定医

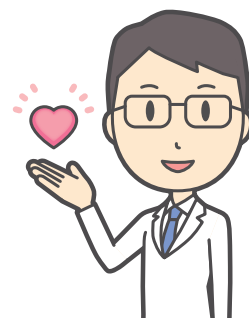


カンファレンスの様子

患者さんや 地域医療機関への メッセージ



精神科は、主に入院患者さんの精神科治療を行っています。身体的治療の必要がなくなった患者さんで精神科治療が必要な患者さんには、地域の精神科（心療内科）医療機関と連携をとり、ご紹介させていただいています。ご理解とご協力をお願いいたします。



当院の5つの基本方針の一つである『納得・安全・チーム医療』の実現が私たちの使命です。

安全、安心な医療を提供するために、院内の安全管理を行っています。

医療におけるリスクをできる限り減らし、メリットを最大限に引き出し提供できるよう、病院内の仕組みを整えることが最大の役割です。それにより、患者、家族、医療者のすべてを守ります。

構成メンバー

専従者3名を含めて、医師3名、看護師2名、薬剤師1名、医事課職員1名、事務員1名の計8名で活動しています。



医療事故防止対策委員会



タスクフォースメンバー

[後列・左から]

岩佐（業務支援専門員）／佐倉（薬剤部次長）／宅和（専従看護師）
岡田（事務員）

[前列・左から]

池村（医療安全部次長兼医療安全課長）／遠藤（医療安全部長）
田村（診療支援担当副院長）／森田（耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長）

提供する主な活動内容

毎月400件前後提出されるヒヤリハット報告について、医療安全部メンバーで週1回事例検討会を行い、タイムリーな問題把握をします。（タスクフォース会）

特にリスクが高い事例については病院トップ（院長をはじめ、各部門の長）と情報を共有し、医療事故防止の方策や事故発生時の対応を検討します。（医療事故防止対策委員会）

また、各診療科・部門より選出された約70名のリスクマネジャーとともにヒヤリ・ハット報告例を共有し、問題改善策の検討などを行います。（リスクマネジメント部会）



実際に発生した事例を検証しています

患者さんや地域医療機関へのメッセージ



患者参加の医療安全の取り組みとして、診療や処置などの前にはお名前を名乗っていただいております。何度もお尋ねと思いますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



リスクマネジメント部会





AGMC ニュース



新しいドクターカーが 導入されました！

当院ドクターカーについて

当院では成人・小児症例を問わず、119番通報もしくは事故・災害発生時に消防本部が一刻も早く医療介入が必要と判断した場合に現場に出動するドクターカー活動を行っております。

また、ドクターカー内では高度医療を提供しながら患者さんを搬送できるため、重症患者さんの医療施設間の搬送にも使用されています。

構成スタッフ

医師、看護師、救命士、救命士ドライバーの5～6人体制で対応

提供する主な活動内容

この度、日本財団の助成により県立尼崎総合医療センターに新しいドクターカーが導入されました。

これまでDMAT仕様の大型のドクターカーと主に転院搬送を担う救急車タイプのドクターカーの2台体制でドクターカー運用を行っていましたが、新ドクターカーの導入を機に老朽化した救急車タイプのドクターカーと入れ替えを行いました。

新ドクターカーはこれまで同様に救急車タイプですが、消防の高規格救急車と同様の車両（TOYOTA HIMEDIC）を使用しており、より高度な病院前診療を行うことが可能となります。



患者さんや 地域医療機関への メッセージ



新ドクターカーの導入により、これまで以上に早期に適切な医療を提供し、少しでもたくさんの重症患者さんの救命率向上、予後の改善に寄与できるよう貢献していきたいと思っております。

ぶらり〜っと 病院探訪

4階 管理フロア

その1

今回は、次回10月号と2回に分けて、
4階管理フロアを紹介します！

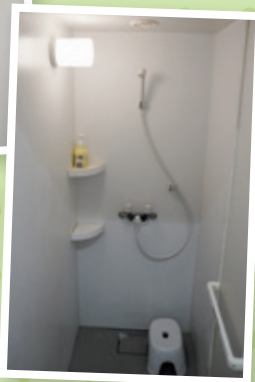
電話 交換室

病院の声の玄関口、病院の印象を左右し、患者サービスの向上を縁の下で支える役割を担うのが電話交換室です。平日は1,100〜1,400本の電話が入ります。患者様からのお問い合わせが6割、医療関係者からが2割、その他2割が業者さんなどです。それを4人で対応しています。平日は一人330本ほど対応しますが、相手の顔が見えない声だけの仕事とあって、話す速度、声のトーンには常に気を使っています。



当直室

通常の診療時間外（主として夜間）に、医師などが仮眠や待機する部屋が当直室です。この当直室が4階には35部屋あります。入院患者の急変や、救急患者の診察などに対応するため、休日や夜間を問わず、医師などが交代で勤務しています。当直室は個室で、ベッドとテレビ（一部）が備えられ、シャワーも共用で利用することができます。食事はコンビニで調達！？



事務局

4階の事務局には、1階にある医事課を除く職員約70名が働いています。患者様と直接関わることは少ないですが、病院を利用される皆様が少しでも快適に過ごして頂けるよう、また、職員が安心して業務に集中し、各部署がその機能を十分に発揮できるよう、日々業務に取り組んでいます。さらに、良質な医療を提供し、県民や地域に一層信頼される病院になるよう効率的な病院運営に努めています。



ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れております。

皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●寄附の用途

ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●寄附のお申し込み・お問合せ先

兵庫県立尼崎総合医療センター 総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)

DONATION



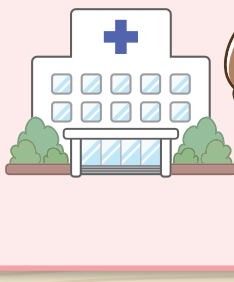
お知らせ掲示板

マスク着用のご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。

入院中の患者さんにつきましても病室外に出る際には、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いすることとしました。

このため、入院時にはマスクの準備をしていただきますようご理解とご協力をお願いします。



面会禁止のお願い

当院では面会を全面的に禁止しております。

なお、患者さんの着替えなどの荷物の受け渡しは病棟職員が対応しますので、防災センターにお声がけください（11時～18時）。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

このたび、県の受動喫煙の防止等に関する条例が改正され、令和元年7月1日より一部施行されました。当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取り組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。

また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



NO SMOKING
電子タバコもご遠慮ください。



編集
後記

少し涼しくなってきました。季節外れの長雨がが続いていますが、みなさんお身体は崩さず過ごせているでしょうか。私事ですが、この時期に見られる流星群を楽しみにしていましたが、あいにくの天気が続き落ち込んでいました。ある日、仕事から帰宅すると友人から遅めの誕生日プレゼントで家庭用プラネタリウムが届いていました。ゆっくりと星空見て癒やされています。みなさんステイホーム期間が長引いていますが、なにか新しいものを取り入れているでしょうか。楽しみましょう、ステイホーム!!! (S.K)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索